



東京都教育委員会では、聴覚障害者の方々が日常生活をより豊かにし、社会参加を促進するために、「社会教養講座」を開催しています。主として聴覚障害者対象ですが、健聴者も受講可能です。また、本講座は手話通訳・字幕付きのオンライン講座（収録映像の配信）になります。

テーマ・講師	配信期間
○野生動物とのより良い共生を目指して — 猛禽類医学研究所の挑戦 — 講師：齊藤 慶輔（猛禽類医学研究所 代表） 近年、様々な人間活動によって野生動物とのあつれきが生じています。本講座では、北海道で絶滅の危機にひんした猛さん類の保全活動に取り組む専門家の話を聞き、人と自然が共生するために私たちに何ができるのかを考える機会とします。	令和8年 10月16日～ 12月16日
○現在の国語は、どのようにつくられてきたか — 国語施策を知る — 講師：武田 康宏（文化庁国語課 主任国語調査官） 今、私たちが使っている国語・日本語は、水や空気のように、はじめからそこにあったものではありません。無理のない円滑なコミュニケーションの実現を目指し、政策的に少しずつ調整されてきた結果、現在の形になったものです。本講座では、国語がどのようにつくられてきたのか、明治期からの経緯を振り返るとともに、未来の姿についても考える機会とします。	令和8年 10月30日～ 令和9年 1月4日
○東京2025デフリンピックの舞台裏とレガシー 講師：倉野 直紀（デフリンピック運営委員会 事務局長） 令和7年11月15日から26日に、東京2025デフリンピックが開催されました。デフリンピック100周年という記念すべき大会であり、日本では初開催となりました。本講座では、大会運営の舞台裏や大会の魅力について学ぶ機会とします。	令和8年 11月13日～ 令和9年 1月13日
○生涯、いきいきと暮らすための健康づくり 講師：畑中 翔（地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム 研究員） 「動ける身体」を保つことは、日々をいきいきと過ごすための重要な基盤です。一方で、充実した毎日を過ごすことは、「動ける身体」を育むことにもつながります。身体活動や食事、人とのつながりなど、日々の生活と身体の健康は相互に関わりながら、健康の好循環を生み出しています。本講座では、こうした健康のつながりを科学的な視点から捉え、生涯にわたり自分らしく暮らすための身体について考える機会とします。	令和8年 11月27日～ 令和9年 1月27日
○江戸時代の暮らしに学ぶ 講師：山村 竜也（歴史作家） 江戸時代を生きた人々は、季節や自然と調和した暮らしの知恵を多数持っていました。本講座では、江戸時代の生活文化をわかりやすく紹介し、環境・節約・地域文化への理解を深め、その知恵を現代の暮らしに応用する視点を学ぶ機会とします。	令和8年 12月11日～ 令和9年 2月12日

◆ 実施方法

オンラインによる配信（2カ月間YouTube限定公開）

※詳しい内容は東京都教育委員会HPに掲載

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/lifelong/learning/seminor_guide.html

◆ 申込方法

以下のURLから申込ください。

申込み確認後、公開日までに受講用URLをお送りします。

※受講後、簡単なアンケートにご協力をお願いします。

※URLは、受講手続きをされた方のみにBCCでお送りします。

※メール受信設定、視聴環境は各自で御確認をお願いします。

※希望するテーマごとに申込む必要はありません。

URL：<https://logoform.jp/f/ApZR8>



【記入事項】

1. 氏名（ふりがな）

2. メールアドレス

※メール申込の場合件名は「聴覚障害者教養講座 参加申込」と書いてください。

問合せ先